



# 議会だより

題字 / 仲宗根 琉夏



島武巳氏より村へ美術工芸品の寄贈

## もくじ

- 令和3年度一般会計補正予算……………2・3
- 条例・契約・請願・陳情・意見書……………4・5
- 一般質問……………6～15
- 県道81号線要請・編集後記……………16

## 令和3年6月定例議会

### 表紙写真を募集しています!

・議会広報委員会では、「議会だより」の表紙写真を村民の皆さまから募集しています。人物、風景、家族写真などテーマは自由です。なお、選考は議会広報委員会で行います。

●連絡先  
北中城村役場議会事務局  
〒901-2392 沖縄県北中城村字喜舎場426-2  
TEL (098) 935-4848 / FAX (098) 935-4848  
Eメール gikai@vill.kitanakagusuku.lg.jp  
※写真の返却をご希望の場合は、申し込み時にお伝えください。

北中城村議会だより第98号

発行責任  
編集

北中城村議会議長  
議会広報調査特別委員会  
2021年8月25日発行

編集委員 委員長 / 上間堅治 副委員長 / 稲福恭秀  
委員 / 安里道也 伊集守吉 喜屋武すま子  
TEL & FAX 098-935-4848  
沖縄県中頭郡北中城村字喜舎場426-2

## 議会をスマホから

今年度より北中城村議会は、録画配信も行います。それに合わせ議会だより一般質問ページのQRコードをスマホで読み取ると、一般質問の録画映像を視聴することができます。

議会HPは  
コチラから  
Check!



<https://www.vill.kitanakagusuku.lg.jp/kakuka/jimukyoku/giji/index.html>



## 県道宜野湾北中城線工事にかかる米軍基地の早期返還を求める要請行動

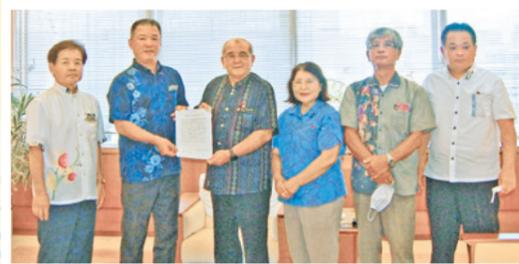
令和3年7月15日県道宜野湾北中城線工事にかかる米軍基地の早期返還を求める要請行動として、沖縄防衛局、県議会へ名幸利積議長他4人の議員団で要請書を手渡した。

県議会では仲田弘毅副議長が対応。県道といふことはもちろん、この路線の重要性も承知している。県議会としても陳情案件として取り上げ、対応していくとの回答を頂いた。

防衛局では宮崎順次長が対応。軍用地返還に関しては米軍との兼合いもあり大変難しいということでも明確な返答を避けたかたまただ。

早期返還の力ぎは米軍、日本政府にあることは十分承知のとだ。北中城村の今議会での要望は、県道拡張の為の僅かな土地の返還である。

米軍が良き隣人であるように。また、沖縄県民に寄り添う政府であるように。言葉だけではなく行動、姿勢を見せてもらいたい。



沖縄県議会へ早期返還の協力要請

## 編集後記

戦後本土復帰まで27年間にわたり、米軍の統治下にあった沖縄。今日も過重な基地負担を強いられている現状は変わっていない。来本土復帰50年の節目を迎えますが、基地依存型の経済構造から、返還に伴う軍用地跡地利用促進により、県の経済効果を押し上げ、雇用の拡大に繋がったのは言うまでもない。しかしながら、SACO合意による返還がなかなか進まず沖縄の地域振興はまだ発展途上。利用計画の策定やまちづくり開発に大きな障害となっており、特に普天間基地返還は全国的にも注目されており、辺野古への県内移設は容認できるはずがない。戦後「銃剣とブルドーザー」で造られた米軍基地は強制接収により建設された経緯があり現在も重くのしかかっている。近年においては、土地利用規制法が成立、基地周辺での特別監視区域に指定された区域は、基地周辺の調査活動や市民運動などの行為に対して監視と処罰対象となり、沖縄県全区が指定される懸念もある。なぜ、今の時期か、国会においても十分な審議が尽くされておらず戦前の土地収用法と酷似していて、基地周辺での生活を余儀なくされた沖縄は、過去の歴史的背景と重ね合わせると、戦後はまだ終わっていないと危惧している。

稲福 恭秀

**問** 雑入の観光周遊バス事業は、今年度から有償実験というところであるが、38万4,000円の算出根拠は。

**答** 38万4,000円の根拠は、令和2年度利用者数4,712人いて、無償運行運賃の利用者数の約8割が乗るものとし、利用料1000円の金額に月480人乗ると予定。8月から8か月間予定している。

**問** 雑入の観光周遊バス事業は、今年度から有償実験というところであるが、38万4,000円の算出根拠は。

**答** 植物工場のコンテナ自体は、農を生かした健康福祉の里づくりに資するもので一括交付金を利用した施設である。この利用方法については、農業生産に携われる方への新たな農水産物農家の育成とか、新たな品目の開発をするためのものとして予算計上している。農を生かしたのみの考えではなく、新たないろいろな方法を検討する施設としている。

**問** 島袋小学校校舎増築工事費5,537万円増額になっている。理由は床面積が増えたということだが、具体的にどういったものが増えたのか。

**答** 工事請負費の増額ですが、当初予算は、教室のみの予算額として計上していた。その後学校からの要望があり、トイレの設置がしたいとのこと約100平米を増床し、その分の予算計上となっている。

**問** 農林水産業費の需用費550万円は、コンテナを再稼働させるという。これは農を生かした福祉の里づくり活性化事業に関連させているのか。

**答** コミュニティバスの趣旨は、基本的には交通弱者の救済、もう一つは地域の活性化を目的としたバスの周遊運行だと考えている。今後様々な考え方、登下校に使えるような複合的なバスの利用の仕方があると思う。実証実験を踏まえてそのようなことも考えてみたい。

**問** コミュニティバスの趣旨は、基本的には交通弱者の救済、もう一つは地域の活性化を目的としたバスの周遊運行だと考えている。今後様々な考え方、登下校に使えるような複合的なバスの利用の仕方があると思う。実証実験を踏まえてそのようなことも考えてみたい。

**問** 無償有償実験を踏まえて、コミュニティバスを推進している側だが、今後どう生かすのか。

**問** コミュニティバスの趣旨は、基本的には交通弱者の救済、もう一つは地域の活性化を目的としたバスの周遊運行だと考えている。今後様々な考え方、登下校に使えるような複合的なバスの利用の仕方があると思う。実証実験を踏まえてそのようなことも考えてみたい。

**問** 無償有償実験を踏まえて、コミュニティバスを推進している側だが、今後どう生かすのか。

**原案可決**

**令和3年度 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)**  
補正額▲257万円 (主に職員の人事異動に伴う人件費)  
歳入歳出予算総額…… 22億7,130 万円

**令和3年度水道事業会計補正予算(第1号)**  
水道事業費用…………… 補正額▲23万円 (主に人件費)  
補正後5億6,216万円  
資本的支出…………… 補正額1万円 (主に人件費)  
補正後8,510万円

**令和3年度下水道事業会計補正予算(第1号)**  
下水道事業費用…………… 補正額239万円 (主に工事費)  
補正後3億6,855万円  
資本的支出…………… 補正額75万円 (主に人件費)  
補正後2億7,203万円

**問** 県との調整をして3月議会の当初予算で計上すべきと思う。その辺を含めて確認したいが、どのようにになっているか。

**答** 道路工事に伴う道路占有物の移設については、各管理者と調整を行い移設を進めているとの県の回答である。今後とも道路の整備計画や工事時期について各管理者と情報共有を図り、道路整備を進めて行きたい旨去年の9月に回答を頂いた。県道工事については、予測はしているが、去年については、調整不足だった。

# 令和3年度 一般会計補正予算(第1号) 2億462万円を増額 歳入歳出予算総額 87億9,662万円

原案可決

- ## 主な歳出補正
- 新型コロナワクチンウイルス感染症検査事業補助金…………… 360万円  
(医療、看護、福祉系の学生のPCR検査費用を学校等に補助)
  - 子育て世帯生活支援特別給付金…………… 2,100万円  
(ひとり親世帯以外の世帯について、児童1人当たり一律5万円の給付金を支給する)
  - PCR検査強化事業負担金…………… 250万円  
(村保育施設職員に3週間に1回程度検査を実施)
  - 保育対策総合支援事業補助金…………… 710万円  
(村保育施設及び児童厚生施設に感染症対策に必要な経費を補助)
  - 保育士確保対策事業補助金…………… 247万円  
(保育士の人材確保の補助)
  - 備品購入費…………… 779万円  
(特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、資源ゴミ車両購入)
  - 地域通貨まーい運営委託料…………… 1,872万円  
(地方創世臨時交付金を受け、地域における消費の喚起、プレミアム付電子商品券の委託)
  - 地域通貨まーい負担金補助金…………… 2,697万円  
(地方創世臨時交付金を受け、プレミアム付電子商品券の販売実施)
  - 北中城村中小・小規模事業者継続支援金…………… 2,500万円  
(新型コロナウイルス感染拡大により事業に支障が生じている村事業所に事業支援金を支給 支給対象：前回支給した飲食店事業所を除く法人個人の事業所、約250事業所に一律10万円支給)
  - 備品購入費…………… 186万円  
(GIGAスクール事業 タブレット配布生徒数増により14台購入)
  - 島袋小学校増築工事に係る増床分…………… 5,537万円



児童生徒に支給されるタブレット

**問** 県道工事に伴い、公共樹高上げ等工事417万5,000円計上されている。当初5カ所とあったが、3月議会で12カ所分の高

**答** 事前に県との調整が十分でなかった。詳細の図面等が提示されていなかったため、おおよそこの区間想定して5カ所で計上した。

**問** 上げが知らなかったのか。3月議会を終えてわずか3カ月の間で12カ所が増えたのか伺う。

**答** 事前に県との調整が十分でなかった。詳細の図面等が提示されていなかったため、おおよそこの区間想定して5カ所で計上した。

### 県道宜野湾北中城線の工事にかかる米軍基地キャンプ瑞慶覧の道路拡張部分について早期返還を求める要請決議

全会一致  
可決



道路拡張計画にかかるキャンプ瑞慶覧

県道宜野湾北中城線は、沖縄本島の中部圏域を東西に横断し国道58号、国道329号、国道330号、沖縄自動車道と連結する幹線道路で中城湾港新港地区へのアクセス機能も有する重要路線である。当該路線は、経済活動、通勤、通学など地域社会に大きな役割を果たしてきたが、近年の都市化、自動車台数の増加などで慢性的な交通渋滞を起し、幹線道路としての機能が著しく低下している。とりわけ県道81号線においては、児童生徒の通学路であり、交通量が増えることにより、事故の危険性も高まっている。そのような状況から、渋滞緩和のため新たな

道路交通網の整備が早急に行われる必要があり、本村議会は、平成27年4月臨時会、平成30年3月定例会において、宜野湾北中城線の工事にかかる米軍基地キャンプ瑞慶覧の道路拡張部分について早期返還を求める要請決議を全会一致で可決し、関係機関に要請をおこなった。現在、沖縄県によって県道宜野湾北中城線の工事が進められ、令和3年3月にはバイパス部分が一部供用開始された。しかし、キャンプ瑞慶覧米軍住宅区域が含まれる北中城村役場から宜野湾市向けの工事区間については、その返還時期が未定のため、当該区域の工事の遅れが懸念される。地主の皆様は、先祖代々受け継いできた大切な土地を北中城村の発展、沖縄県の発展を第一に考え14年前に沖縄県へ提供した。すべての区間の工事が早急に完成し、全面開通することが交通渋滞の緩和ができるものとする。よって、本村議会は、県道宜野湾北中城線を早期完成させるためにも、米軍基地キャンプ瑞慶覧にかかる道路拡張部分について早期に返還することを強く要請する。

以上、決議する。令和3年6月22日 沖縄県北中城村議会  
宛先 内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、沖縄防衛局長

### ○ 条 例

全会一致  
可決

- ・ 議案第27号 北中城村税条例の一部を改正する条例  
(納税証明書及び固定資産税台帳の件数の取り扱いに基づき条例を整備するための改正)
- ・ 議案第28号 北中城村手数料条例の一部を改正する条例  
(北中城村手数料条例の整備及び多機能端末機による証明書交付を実施することに伴い手数料免除に関する規定の改正)
- ・ 議案29号 北中城村印鑑条例の一部を改正する条例  
(住民基本台帳法施行令等の一部を改正する政令等及び成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の公布、北中城村多機能端末機による証明書等の発行に関する規則の新規制定に基づき条例の改正)
- ・ 議案第30号 北中城村道路占用料徴収条例の一部を改正する条例  
(道路法施行令の一部を改正する政令において、道路占用料の額が改定されたことによる改正)

## 条例・契約・請願・陳情・意見書

6月定例議会において、北中城村村税条例の一部を改正する条例他3件を可決。教育委員会委員の任命、人権擁護委員候補者の推薦についての人事案件が提出され、教育委員に富永一也氏(字大城)、人権擁護委員に伊集守明氏(字屋宜原)、大泊スエ子氏(字喜舎場)が承認された。陳情第3-5号地元建設業者への最優先活用について採択、陳情第3-6号荻道地域内に設置されたごみ焼却炉から発生する黒煙、悪臭による生活環境被害について荻道自治会から陳情書が提出され、住みよい環境づくり調査特別委員会で審議され継続審査となった。決議第4号米軍UH-1Yヘリコプターのうるま市津堅島不時着に関する抗議決議、同意見書第6号や県道宜野湾北中城線の工事にかかる米軍基地キャンプ瑞慶覧の道路拡張部分について早期返還を求める要請決議について全会一致で採択した。

### 陳情第3-6号：荻道地域内に設置されたごみ焼却炉から発生する黒煙、悪臭による生活環境被害について(審議経過)

継続審査

昨年8月に荻道地内にコンテナ会社がコンテナ置き場として地主から借り上げたが、廃材等を持ち込み突然、住民の同意なく焼却炉を設置した。住民は焼却炉から発生する黒煙、悪臭、騒音等による生活環境の悪化と健康被害を訴え、消防、警察などに通報し改善策を申し入れたが解決の糸口が見えない。村全体の問題として問題解決を図るよう陳情があった。そのため本議会では住みよい環境づくり調査特別委員会を設置し、陳情者から陳情内容を聴取した。また住民からの陳情にどう対処してきたか関係課に聞き取り調査を実施し、その結果許認可や大気汚染等関連業務を所轄する県との協議について、どこまで踏み込んで対応したか不明瞭な点が見受けられたため、当委員会としては、今後も詳細な調査、検討を要すると決定し、閉会中継続審査となった。

### 決議第4号：米軍UH-1Yヘリコプターの津堅島不時着に関する抗議決議(要約)

全会一致  
可決

令和3年6月2日午後11時頃、米軍普天間飛行場所属のUH-1Y多用途ヘリコプターがうるま市津堅島の私有地に不時着した。着陸地点から住宅地までの距離は120メートルほどしかなく、一歩間違えば住民を巻き込む大惨事につながりかねず、住民に大きな不安と衝撃を与えたことは、断じて容認できない。本村議会は、米軍機に関する事故などについては、繰り返し厳重に抗議や要請を行ってきたにもかかわらず、事故が後を絶たない現状に激しい怒りを覚えるとともに、米軍の安全管理体制の不備を強く指摘するものであり、日米両政府は、米軍機による事故などが頻発している実態を真摯に受け止め、県民の過重な基地負担の確実な軽減が図られるよう、より一層全力を挙げて取り組むべきである。よって、本議会は、村民の生命・財産及び生活環境を守る立場から、今回の事故に対し厳重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに措置されるよう強く要求する。

1. 原因を徹底的に究明するとともに実効性のある再発防止策を講じ、迅速に公表すること。
2. 普天間飛行場に所属している全機種飛行を停止し、整備点検等安全管理の徹底を図ること。
3. すべての軍用機の住民住宅地域上空での飛行を全面的に禁止すること。
4. 現場の原状回復措置、補償等の対応を速やかに行うこと。
5. 在沖米海兵隊の整理・縮小を図ること。
6. 日米地位協定を抜本的に改定すること。

以上決議する。  
令和3年6月22日 沖縄県北中城村議会  
あて先 駐日米国大使 在日米軍司令官  
在沖米国総領事 在沖米四軍沖縄地域調整官

意見書6号 米軍UH-1Yヘリコプターの津堅島不時着に関する意見書  
衆・参議院議長他関係機関へ送付した。



UH-1Yヘリコプターが配備されている普天間飛行場

# 村政を問う!

議会に

来ませんか

一般質問者  
9人

令和3年6月  
定例議会

一般質問の議会録要約文は本人執筆、議会広報委員でチェックして掲載

1 比嘉 盛一 議員…………… 7p

- ①新型コロナウイルス感染症対策を問う
- ②公営墓地整備事業
- ③オンライン授業はいつ始まるか
- ④危険カ所の修繕

2 比嘉 次雄 議員…………… 8p

- ①荻道地域に設置された焼却炉について
- ②北中城村三大まつりについて

3 稲福 恭秀 議員…………… 9p

- ①公営墓地、令和4年度運用開始できるか
- ②ライカム地区連絡歩道橋の設置実現は
- ③実効性のある条例を制定したらどうか

4 大城 律也 議員…………… 10p

- ①児童・生徒の通学路の安全確保について
- ②新型コロナワクチン接種について
- ③新型コロナウイルス緊急支援対策について

5 上間 堅治 議員…………… 11p

- ①全村的なスクールバス運行の進展
- ②北中城村の財政は逼迫しているのか

6 比嘉 義弘 議員…………… 12p

- ①コロナワクチン接種の現在の状況は
- ②しおさい市場の動きは
- ③地域懇談会は最近開催されていないが
- ④村民体育館への苦情
- ⑤村内の建設業界について
- ⑥松食い虫の件

7 金城 高治 議員…………… 13p

- ①新型コロナウイルスワクチン接種状況は

8 安里 道也 議員…………… 14p

- ①アリーナ建設問題、新村政へ期待
- ②新型コロナ対策ワクチン対応と教育現場の状況は

9 山田 晴憲 議員…………… 15p

- ①ワクチン接種は、学校現場、福祉関係に優先順位の配慮を
- ②平和の日制定を
- ③本村の特徴ある平和の取組を道徳教育教材に

## 新型コロナウイルス

### 感染症対策を問う



比嘉 盛一 議員

詳細は動画からCheck!



**問** 本村は新規感染者数について他市町村に比して数値は悪く、また、ワクチン接種率も低調である。新規感染拡大を防ぐにはワクチン接種率を上げるといふのは共通認識である。今後の対策を問う。

**答** 集団接種を進めると同時に個別接種も増やしていくということに尽きると思う。それに向けて鋭意努力している。



整備中の公営墓地

### 公営墓地整備事業

**問** 公営墓地整備事業において概況の説明を求める。

**答** 総事業費7億6千万円、364区画、駐車場38台を予定している。

**問** 使用料、購入対象者の条件、優先順位等は今後検討委員会決定している。

**問** アフセ土地開発で墓の立ち退きを余儀なくされた方、公営墓地事業で土地を収容された方への配慮はあるか。

**答** 公営墓地の趣旨にかかった方々への救済はあるものと思っている。この公営墓地は公の施設で基本的には平等に扱わないといけない。村民優先とかの差別化はこれからの検討事項だと考えている。

### オンライン授業はいつ始まるか

**問** 本村のオンライン授業の開始について、準備状況について。

**答** 児童生徒の学習を保障する手段の一つとしてオンライン授業は必要性があると考えている。準備状況としては、全児童生徒に学習用端末を配布し校内LANの整備も済んでいる。また、Teamsというテレビ会議システムも導入済みである。

**問** オンライン授業と関連するG・I・G Aスクールの準備状況を問う。

**答** 休校明けから研修もスタートしており規則等々の整備、子どもたちや先生方のスキルアップも含めて、それが落ち着いたところ、順次配備していく。設定が終わっている学級からスタートしていく。

### 危険カ所の修繕

**問** 危険カ所の改修工事について。昨年6月島袋自治会から要請のあった危険カ所の改修2カ所については施工せず放置されているのはなぜか。

**答** このような改修工事に対応しているのは1社のみで、かなり手持ち件数が多いという状況にある。危険性、緊急性に応じて順次対応している。

**問** 対応する業者が1社だけにすると遅くなる。2社になれば倍の速さになる。村民ファーストの観点から業者を増やして欲しい。

**答** 各々現場で臨機応変に対応できるのが、その1社だけである。村としてもこのような業者が数多くあると助かる。しかし、現実的には見つからないという事情がある。



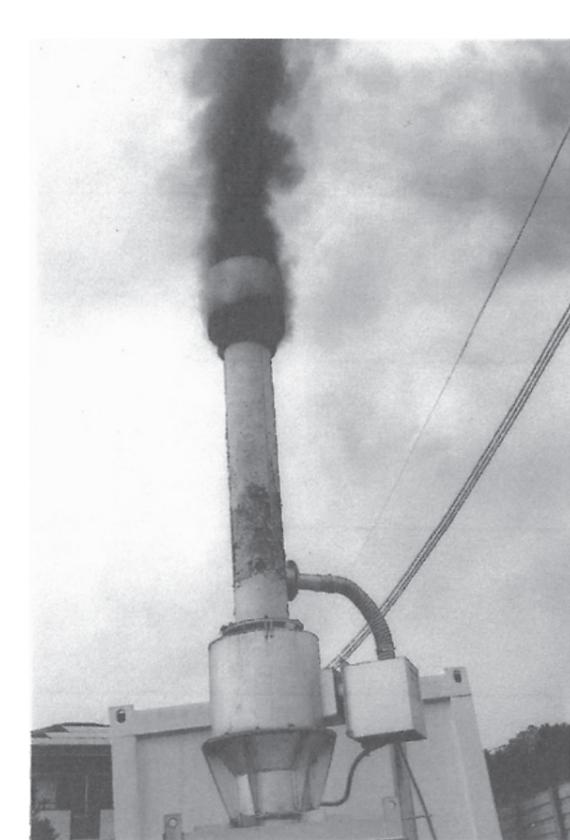
比嘉 次雄 議員

詳細は動画からCheck!



# 荻道地域に設置された焼却炉について

**問** 荻道139番地に土地管理者とコンテナ販売業やリフォームを営む業者が賃貸借契約を結び大型コンテナや廃材等運び込み、村道へのはみ出しや通行車両への危険な状態が続いた。そして11月突然焼却炉を設置し稼働を始めた。焼却炉の煙はものすごく、近隣住宅とは近いところで4メートルしか離れておらず騒音や煙で喉の痛み、また洗濯物は外に干せなくなった。土地管理者と業者の話では焼却炉設置については近隣住民の了解を経るとの条件だが業者は怠っていた。



荻道地域に設置され黒煙を噴出する公害焼却炉

**答** 地域住民の要請を踏まえ関係各課を集め協議を行い対応策を議論した。当該地域は騒音、悪臭など公害指定区域には指定されておらず、業者側には撤去の指

導までは行えず地域住民への住環境配慮をお願いしてきた。県環境部、中部保健所、中北消防本部、警察と情報を共有しながら村として最良の対処方法を検討し、県公害審査会の指導を受け、その後行政指導、警告などの効果もあり焼却炉の撤去となった。地域住民の積極的撤去行動が実った結果である。

**問** 今後このようなことが村内で二度と起こらないような拘束力のある条例が必要かと思うが如何か。

**答** どのような条例で規制することができると今思案中であり積極的に進めていく。

**問** 昨年の三大まつりは新型コロナウイルスの影響を受けすべて中止となった、今年の三大祭り計画、予算の配分は。

**答** 9月5日に青年エイサーまつり、10月9〜10日北中城まつり、いずれも安谷屋若松公園。予算は、青年エイサーまつりが245万2000円、北中城まつりについては1490万4000円、ひまわりまつりについては実行委員会で中止決定がされている。

## 北中城村三大まつりについて

# 公営墓地、令和4年度運用開始 できるか

村長：令和4年度の供用開始に向けて、各種工事を進めている。

## 実効性のある条例を 制定したらどうか



稲福 恭秀 議員

詳細は動画からCheck!



**問** 建設工事はどこまで進んでいるか。

**答** 現在、敷地の造成工事を行っている。引き続き納骨堂の建築工事を発注準備しており、今年度中に関連する工事は完了する見込みである。

**問** 公営墓地に関する条例、規則の制定は。

**答** 公営墓地運営検討委員会において条例及び施行規則の概要をまとめ、12月議会に上程する。

ている。

**問** 管理されていない墓が見受けられるが、集約を図るための公営墓地計画はあるか。

**答** 墓の需要を見て決めていく。

**問** 昨年、荻道地区の民間地に大量のごみ置場と焼却炉が設置されて、黒煙や騒音発生するなど健康被害が起きた環境問題について、規制する条例がなく区民の苦情が受け入れられない現実があった。焼却炉は撤去したが、今後も同様

な環境問題が村内に起こりうることは十分予想されるが、実効性のある条例を制定したらどうか。

**問** 補助金のメニューと申請状況は。

**答** 昨年、荻道地区の民間地に大量のごみ置場と焼却炉が設置されて、黒煙や騒音発生するなど健康被害が起きた環境問題について、規制する条例がなく区民の苦情が受け入れられない現実があった。焼却炉は撤去したが、今後も同様

**問** 都市計画マスタープランに基づく街づくりや景観地区指定が明記されているので、計画書に基づく条例制定は可能だが。

**答** 実効性のある例規に向けて頑張る。



造成中の公営墓地・364区画の規模(島袋地内)

**問** 公営墓地の規模はどのくらいか。

**答** 墓地364区画、駐車場38台、納骨堂収容数400体。

**問** 墓地の運営、管理方法は。

**答** 今後開催予定の公営墓地運営検討委員会において順次決めていく。

**問** 墓地経営許可申請数は年間何件か。

**答** 近年では、平成30年度20件、令和元年度30件、令和2年度21件となっている。

**問** 公営墓地整備により、墓地の散在化は解消されるか。

**答** 公営墓地を整備し墓地を集約することで、散在化を抑制する効果が得られると考える。

## ライカム地区連絡歩道橋の設置実現は 村長・特段の進捗はしていない。

**問** 設計料を含めて事業費総額は。

**答** 約2億7,500万円。

**問** 社会資本整備交付金を活用するため国及び県と相談しているが、予算要望に至っていない。

**答** 実効性のある例規に向けて頑張る。



大城 律也 議員

詳細は動画から Check!



# 児童・生徒の通学路の安全確保について



北中城交番前から和仁屋入口間、植栽帯の低木や雑草が伸び放題の歩道

**問** 登下校中の児童等に車が出っ込み死傷者が出るという痛ましい事故が相次いで発生している。本村では近年の交通需要の増大に対応するため、県道81号線バイパスが整備された。このような状況を踏まえ、教育委員会、小中学校、PTA、行政、沖縄警察署、県中部土木事務所等の協力を得て、通学路の交通安全の合同現地点検

を検討する必要がある。北中城村通学路安全対策協議会設置要綱に基づき、通学路の合同点検を行っている。今年度も実施に向けて調整している。

**答** 北中城交番前から和仁屋入口間の歩道整備について、道路沿いの低木や雑草が伸び放題で児童の背丈以上に

**問** 仲順交差点の信号機が点滅作動となっている。児童が登下校時に横断するとき、非常に危険な状態となっている。現地を確認して、早急に元に戻すように、沖縄警察署に要請すべきである。

**答** 信号機の件については、地元自治会からも要請を受けている。沖縄警察署からは、今は交通量について、調査中との回答を得ている。これ以上の進展がない状態である。

## 新型コロナワクチン接種について

**問** 65歳以上を対象とするワクチン接種が順次始まっている。交通弱者や障害者ら接種を受けるのが難しい少数者は置き去りにされていないか、入念な配慮が必要である。障害に応じた合理的配慮を強く要望する。

**答** 交通弱者に対して、地区公民館やバス停をルートとする無料送迎バスを運行している。また、施設接種も予定している。その他の方々に対しては、福祉課と連携して支援する。

## 新型コロナウイルス緊急支援対策について

**問** 抗体検査、PCR検査費用助成について、村民または村内在勤の保育、教育従事者、介護、障害福祉サービス従事者などに対して、抗体検査、PCR検査費用を補助する支援策を検討する必要がある。

**答** 村では、独自事業として、医療・福祉施設等への実習生に向けPCR検査助成事業を予定している。

※他にスクールバスの新型コロナウイルス感染症防止対策と島袋小学校校門前に横断歩道や信号機設置等について質問した。

# 全村的なスクールバス運行の進展

村長：検討委員会を9月に立ち上げる



上間 堅治 議員

詳細は動画から Check!



**問** 全村的なスクールバス運行が望まれている。前回の一般質問から3カ月たったが進展はあったか。

**答** 検討委員会を9月より立上げる予定である。

**問** 一歩も前進していないように思われる。地域の意見等は聞いたのか。

**答** 現時点で地域の意見は聞いていない。

**問** 地域の意見を聞かずに走り出すのは一番の問題だと思いませんか。

**答** あやかりの杜からの意見聴取や、距離の測定など基礎的な

数値を固め今後の展開や問題点を検討委員会で解決していく。

**問** あやかりの杜のバスの活用他に考えはあるのか。

**答** 現在コミュニティバスの実証実験でスクールバスの機能を持たせられないか検討している。

**問** あえて提案する。北中城中学校バス理事会の基金の活用や、関係自治会からの前年度の繰越金の活用。あるいは村内のマイクロバスを保有している事業所への協力依頼もできると思いませんか。

**答** 理事会の基金又は自治会の余剰金



あやかりの杜のバスの実用は可能か

活用に関しては、特定財源の活用を検討し、自治会に関しては自治会の主体的な判断に任せたい。村内事業所については選択肢として検討に値する。関係機関と協議したい。

## 北中城村の財政は逼迫しているのか 村長：逼迫している

**問** 何故、今、北中城村において財政改革が必要なのか。

**答** 今年度の予算に關しても財政調整基金に依存した予算編成である。その中で十数年経過しても積立率は変わりにない、ここに構造的な問題がある。

**問** 率直に伺う。北中城村の財政は逼迫しているのか。

**答** 10億の税収が増えつつある。当然基金もそれに伸びると考えているので北中城村は厳しい状況と考える。

**問** 基金積立と財政とは別の話だと思いませんか。逼迫している家庭がどのようになっているのか。もう一度伺う。北中城村の財政は逼迫しているのか。

**問** 逼迫しているのになぜ基金積立ができるのか。

**答** 毎年繰越金があり自治法でも認められているので積立することは可能。

**問** 繰越金はあるが逼迫し使えるお金がない。なので改革をやらなければならないと思いませんか。

**答** 村の財政状況で経常収支比率は87%の危険ゾーンである。危険ゾーンの中にある村の財政状況が果たして余裕があるのか。本当に厳しい環境の中にあると考える。

※他に新型コロナウイルス感染症対策に対しても質問しました。



詳細は動画から Check!

# コロナワクチン 接種の現在の状況は

**問** ワクチン接種を進める上で苦労した点があると思うが、どのような点が苦労だったか何う。

**答** 担当する正職員が少なく、政府の方針も日々変更が多く、また医療従事者の確保を中部地区医師会と調整していたが、それもなかなか上手くいかなかった点である。

**問** 接種の予約状況は。

**答** 6月14日付で予防接種の予約数は60%である。

## 地域懇談会は最近開催されていないが

**しおさい市場の動きは**

**問** 全会一致ではなかったが、しおさい市場は万全の体制で開業のスタートを臨めたか。

**答** 指定管理する事業者については村に各4半期前の収支報告も義務づけられている。4月からスタートしている。7月に第一4半期の報告がある。開業のスタートは問題ない。

**問** 地域懇談会が開催されていないように見えるが承知か。

**答** 平成27年から5年ぐらいい開催されていなし。

**問** 地域懇談会は必要と考えるか。

**答** 地域住民から生の声を聞くことは必要と考える。

## 村民体育館への苦情

**問** 村民体育館について正直、村民からよかったという言葉は聞いたことがない。最近また村民から苦情があったが、そのことは承知か。

**答** 教育委員会には体育館の利用等苦情は届いてない。

**問** 体育館の床に損壊した部分がある。現時点でどこが費用を持つのか、村か業者か。

**答** ルネサンス側の責任で修繕する。



依然として問題のある村民体育館

## 村内の建設業界について

**問** 村内の建設業界は相変わらず苦戦を強いられている。このままの流れで進むと衰退は必至である。商工会の建設業界との緻密な情報交換は考えているか。

**答** 村としては早目に開催したいと考えている。情報交換の場を設けることも有意義である。

## 松食い虫の件

**問** 松食い虫の件は以前も取り上げた。最近また住民からその件で訴えがあった。安谷屋の住民から屋敷内にある松食い虫の被害があったが、村内の屋敷内の対策は万全か。

**答** 個人の財産に関わる問題に安易に介入すべきでないと考え

# 新型コロナウイルス ワクチン接種状況は



詳細は動画から Check!

**問** 沖縄県はコロナ禍の中で、緊急事態宣言の中10万人1人当たりの新規感染者数で最多を更新するなど危機的状況ですが、北中城村の状況はどのようになっているのか。

**答** 新型コロナウイルススワクチンについては中部医師会の計画と調整をして進めている。個別の接種についても村内の病院の先生方に週2日から毎日接種と言う変更もしているところである。

**問** ワクチン接種状況を中城村と比較すると、全体的に遅れているが、なぜそういう差が出たのか。どのような原因だと考えられるのか。



お年寄りのワクチン接種は大丈夫か

**答** 我が村は事務研究会の接種計画に則ってやってきました。ただ中城村は地元で我が村以上に病院を抱えているので、個別接種が増えたと考える。

**問** 私はこの差というのは、村長のリーダーシップが問われていると思っています。それを担当課にワクチン接種を早めるようにと言っても限界があるので村民のために早めに接種を進めるには、村長がリーダーシップを発揮して進めてもらいたいと思っ

**答** 医師会のほうが平等な形で計画して作られているので、私はただこれに忠実に従ったという状況だった。気が付いたらその様な差が出てしまった。それについては反省している。

**問** これからでも遅くはないのでぜひ村長のリーダーシップを発揮して接種を進めてもらいたい。北中城村は女性長寿日本一という村なのでもう少しお年寄りに手厚いフォローをやって

**答** しつかり反省して、これから新たな体制の整備の構築に係課と協議して、できるだけ対応を考えていく。

**問** 女性長寿日本一の村がそういう状況では恥ずかしいのではないのか。北中城村役場の人に任せれば、大丈夫だと言われるくらい体制づくりをぜひしてもらいたい。

**答** ワクチンを受けていないお年寄りは、約3,400人。

**問** 女性長寿日本一の村がそういう状況では恥ずかしいのではないのか。北中城村役場の人に任せれば、大丈夫だと言われるくらい体制づくりをぜひしてもらいたい。

**答** しつかり反省して、これから新たな体制の整備の構築に係課と協議して、できるだけ対応を考えていく。

※他に不登校、いじめ、についても質問しました。



詳細は動画から Check! 安里 道也 議員

# アリーナ建設問題、新村政へ期待

## 村長・検討委員会の諮問を受け判断する

**問** 比嘉孝則村政が発足し行政が刷新され、本村のこれからの課題解決に向けて多くの村民が期待を寄せている。その大きな課題の一つであるアリーナ建設補助事業について、前村政からは方向性や具体的解決策も示されず、長期に渡って進展がない。村長はどのような視点と方向性を持って問題解決に取り組むのか伺う。

**答** アリーナ建設については用地と建物との問題がある。用地については、建設課と一緒に交渉している。全体の事業計画については諮問機関である検討委員会を立ち上げ、前進・後退・修正・そして財力も鑑みどのように対処し向き合っているのか、議論しているところである。

**問** 用地取得に関して交渉が難航しているようだが理由は何か伺う。

**答** 土地の実勢価格と区画整理の時の価格との差が大きいためある。価格差というものについての課題をどう処理するかが今の課題となっている。

**問** 現段階で解決に向けて具体的方策はあるか。

**答** アリーナ原案・代替案・用地問題等総合的に判断しないとイケない。それぞれの課題について意見交換しながら課題解決に向けて考えよう。



用地交渉が難航しているアリーナ建設用地

## 新型コロナ対策ワクチン対応と教育現場の状況は

**問** ワクチン接種が高齢者を対象に今年の4月から始まっているが、現在までの進捗状況を伺う。

**答** 6月14日までの集団・施設・個別予防接種において合計1400人が接種している。うち2回終了者が330人となっている。

**問** 現在接種率が悪いということだが、関係医療機関と連携を密にして個別接種に力を入れ、なるべく早く終われるようにしてほしい。

**答** 早く進めていくように、村内の医療機関と協力してやっていく。

**問** 学校現場において感染者が出ていると聞いているが、どのような状況か。

**答** 昨年2月に県内初感染者が出て以来、本村の学校現場にお

いては、累計7名が感染している。

**問** 教育現場においても7名の感染者が出たということで危惧しているが、PCR検査等どのように行ったか。

**答** 県のPCR検査チームが発足する以前の陽性反応だったので、校長が中部保健所とやり取りをして対応した。現在は県のPCR検査チームと連携し、学校が直接検査をクラス単位で行っていきことになる。

**問** 報道によるとPCR検査等教員が対応するところがあるがどのようにしているか。

**答** 決して先生だけが対応するというわけではない。可能な限り今回のコロナ感染のためPCR検査においても、学校任せではなく教育委員会として学校を支え共に進めていく。

る。機会を利用して、比嘉太郎さんの顕彰碑についてももしっかり話し合いたいと考えている。



詳細は動画から Check! 山田 晴憲 議員

# ワクチン接種は、学校現場、福祉関係に優先順位の配慮を

**問** 前村長に予防は絶対必要と抗体検査、抗原検査、PCR検査をぜひとも必要と訴えてきた。ワクチン接種は、学校現場・福祉関係の保育園・学童クラブ等に優先順位の配慮検討を。

**答** 多様な視点から所管課で考える。

**問** 本土で、全盲の方に点字のない接種券が届いて、分からなくて2週間放置されてしまった。基礎疾患のある方、障がいのある方、高齢の方に寄り添う形で、ケアマネジャー、民生委員で手助けできないか。

**答** 福祉サービスをアマネジャーで、障がい

のある方は計画相談プランナーがついて支援者の方の協力も、サービスを受けていない方は民生委員の力を借りるといったのも一つと考えている。

**問** 季節外れのRSウイルス感染症、これからの感染症関係で、第2・第3と新型コロナウイルスで大変。学校現場、福祉関係施設の認可外を含め保育所等にセンサー式の検温装置の向きな検討を。

**答** コロナ感染対策として、今回の補正予算で各施設に応じた形での検温設備であるとか判断を任せられた整備をお願いしている。

## 平和の日制定を

**問** 平和継承について、村第3次総合計画に、「平和の日」制定、平和図書の充実、案内ガイドや平

和を語る後継者の育成等々が施策としてあったが、今後の平和継承施策の考えを。

**答** 村第3次総合計画の平和の日制定、今後も戦争体験等の調査を進め、記録を整理し、活用を図る。また、学校と連携し平和学習の機会の提供を促進する。平和を守る北中城村民の会の活動を支援し、平和交流、平和思想啓発普及を図る。比嘉太郎さんについて、来年は世界のウチナンチュ大会等があ



平和の日制定を

## 本村の特徴ある平和の取組を道徳教育教材に

**問** 道徳教育として、本村の特徴ある平和の取組が教材として可能か。

**答** 学習指導要領にも関連されつつ、道徳の授業として成立させるために、村の平和の取組が教材化することに妥当・適切かを今後検討していきたい。